

フェノキサスルホン・ベンゾピシクロン・ベンゾフェナップ水和剤 クサビフロアブル	取扱メーカー： クミカ* 原体メーカー： クミカ、エス・ディー・エス、 O A T
成分： フェノキサスルホン〔イソキサゾリン系〕……………2.7% ベンゾピシクロン〔ピシクロオクタン系〕……………3.6% ベンゾフェナップ〔ピラゾール系 PRTR・2種〕…21.8%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

●非スルホニルウレア系の水稲一発処理除草剤である。

●新成分フェノキサスルホンは発生前～生育初期のノビエに対して高い効果を示す。また、コナギやアゼナ類などの一年生広葉雑草に対しても有効で、幅広く安定した効果を有する。

●水稲に対する安全性が高く、田植同時処理が可能である。

●アシカキ、イボクサなどの進入雑草に対して効果がある。

●スルホニルウレア系除草剤（SU 剤）に対して感受性が低下したホタルイ、ミズアオイなどにも有効である。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

●共通注意事項の 5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。

●使用前に容器をよく振ってから使用する。

●雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの 2.5 葉期までに時期を失ないように散布する。

●多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布する。

●水口施用の場合は、入水時に水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させる。処理後田面水が通常の湛水状態（水深 3～5 cm）に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意する。

●藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため水口施用をさけ、本田内で水田全面に散布する。

●水口に対して風速 5m/s を超える向かい風が吹いている場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため水口施用をさける。

雑草名	散布適期
ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ エゾノサヤヌカグサ	2 葉期まで
オモダカ	発生始期まで
ヒルムシロ	発生期まで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

【薬効・薬害等の注意】……………

●オモダカは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な前処理剤又は後処理剤と組み合わせて使用する。

●梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさける。

●活着遅延を生じようとする異常低温の時は薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。

●共通注意事項の 5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

●適用作物（水稲）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

●甲殻類、藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。

● 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ ヒルムシロ オモダカ エゾノサヤマカグサ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後3日～ ノビエ2.5葉期 但し、移植後 30日まで	500 ml	原液湛水散布 又は 水口施用	1 回 ※

※フェノキサスルホンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数：3回以内

※ベンゾフェナップを含む農薬の総使用回数：2回以内